



きたおか こうむてん

北岡工務店 ニュース

いつも北岡工務店ニュースをご愛読いただきありがとうございます。今回は、木の伐採は『環境保護』や『地球温暖化ストップ』になるというお話をしました。今回は、『木遣い (きづかい)』についてお話します。

「木遣い」こそ職人の技！

木の個性を見極めて使うのが木遣い！

1本の木でも部分によって性質が違います。これらを見極めてそれぞれに適した場所に使い分けることを『木遣い (きづかい)』といいます。

木の年輪の中心を『樹芯 (じゅしん)』といい、その回りの赤っぽい色をした部分を『芯材 (しんざい)』または、『赤身 (あかみ)』といいます。堅くて腐りにくく、虫に強いことから、主に構造材 (土台・柱・梁) に使用されます。

樹皮に近い白っぽい部分を『辺材 (へんざい)』または、『白太 (しらた)』といいます。比較的節が少なく、木肌もやわらかいので加工がしやすく、主に内装材や下地材などに使われます。



木の種類が違くと個性も違う！ 適材適所で個性を發揮！

木は、種類によっても性質が違います。それぞれの持ち味を活かして使い分けると、長持ちするだけでなく、住空間を快適に保ってくれるのです。

【 住まいに使う主な木 】

すぎ

杉

～古くから日本人に身近な素材。加工しやすくやわらかい木肌と素直な木目、曲げに対する強さがあります。(柱・梁・床・壁・天井・建具などに使用)

けやき

欂

～木目が美しく、堅くて強度もあり、耐水性・耐朽性に富み、「広葉樹の王様」とも呼ばれています。(大黒柱・上がり框・床の間の化粧用造作材などに使用)

ヒバ

檜葉

～殺菌性があり、ヒノキチオール含有率が高く、シロアリや腐朽菌に強く、耐水性・強度がとても高い。

(土台・柱・軒廻り・浴室・濡縁・ベランダなどに使用)



